

-----8月30日-----

今週のアウトルック (8/30 ~ 9/3)

先週は最安値更新と要人発言警戒、買い戻しなどの動きが交錯することにより、少し不安定な動きとなった一週間でした。

1995年以来となる安値更新には、やはりかなりのパワーが必要だったようで、簡単に80円割れとはなりませんでした。

日銀の動きに対する警戒や、個人投資家の円売り、短期投機筋の利益確定など、下支えする要素も多数あります。ここから安値更新するには何かキッカケが欲しいところです。日本政府や日銀に対する失望が大きなキッカケとなるのか、その辺りに今週の注目が集まっているようにも思います。

ドル円は週末に一気に買い戻しが進み、週足としては長くひげをつけた形で終了しています。テクニカル的には一旦円買い終了という解釈もできそうですが、早々に発表される、日銀の円高対策次第というところが大きいと思います。大方の予想として、対策への失望感をキッカケにもう一段の円高が進むという見方が多いですが、その辺りを狙った踏み上げ、ということも一応は考慮しておいた方が良いでしょうと思います。

ドル円の予想レンジは80円から86円です。

ユーロ円もユーロドルのユーロ売り一服感から、今週の動きはドル円次第という可能性が強そうです。

一度107.5円を抜けてしまっていることから、再び円高の流れが強くなると、底値が計り知れなくなる可能性も出てくるようにも思います。

ユーロ円の予想レンジは100円から115円です。

ポンド円もドル円次第の可能性が強そうです。

こちらも円高再燃となれば、120円割れを狙う動きになるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは120円から135円です。

今週はどちらにしても、各通貨ともボラティリティが大きくなりそうな状況です。政府の要人発言に注意しつつ、動きが見えてきてからついていっても遅くはないように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。